

4. アジア地域以外の環境支援二一ズと支援状況

二一ズ	大洋州	中米・カリブ	南米	アフリカ	中近東	東欧
<p>① 自然エネルギー利用 風力、太陽光、水力、地熱などを利 用した発電への協力二一ズがある。 ② 生物多様性保全 イグアズ国立公園、保護区の選定・モニ タリング・管理、コカインの分野 ③ 廃棄物管理 ごみの減量化、処理の分野 ④ 制度作り 自然資源管理については、モニタリ ングを中核とした管理の構築が必要。 NGO、地域住民参加が必要。 中央レベルでは環境法整備、EIA 制度 導入等。</p>	<p>① 環境管理システムの整備 中米・カリブ地域に適合した法制度、 組織の確立、法の施行能力の強化が必 要。 ② エコツーリズムへの支援 中米・カリブ地域において観光は重 要産業。ニスタリカで先駆的に行われ たエコツーリズムを他の国に普及する ことが有効。 ③ 再生エネルギーへの転換 太陽、風力エネルギーへの転換の必要が あるが、支払い能力からかなりの制約 がある。</p>	<p>① 自然資源 保護地区管理計画策定、一貫性あ る自然資源管理、他の援助機関、NGO との連携が重要。 ② 大気汚染対策 大気汚染モニタリング網整備。 ③ 水質汚濁対策 日本の過去の工場近代化や公害の 経験を踏まえ、公害に関する対策技 術を有効。 ④ 廃棄物管理 地方主要都市を対象とした廃棄物 管理体制確立。</p>	<p>① スーダン、サハラ地域 この地域は降雨量が少なく、土壌が貧 しい。土地の肥沃度保持が可能な持続的 農業、農民収入増加の伴う自然資源管理 と持続的利用の支援二一ズ。 ② アフリカ沿岸沿海岸地域 人口が集中する沿岸地域の環境問題(都 市環境、産業公害対策)、残された熱帯 雨林保護、西アフリカ分水嶺保護。 ③ エコ・盆地、東アフリカ、南部アフリカ 人口圧力の緩和、資源持続的利用、 途上劣化に配慮した農業、生物多様性保 全と観光産業、土地改革と食糧確保、水 資源管理、都市域での都市環境問題対 応。</p>	<p>① 環境行徳強化 まず環境モニタリング導入が必要。伝統 的イラム法が採用されている国では近 代法のエクスポートが難しい。 ② 塩害、土壌劣化対策 ワーカー・ハブ・システム、人口高分子剤 使用による土壌保水性増加など装置 は限られる。 ③ 自然環境、生物多様性保全 保護区の設定と管理。ただし一般論 としては、同地域での保護区設定は多 くの場合、技術的に難しい。生物のイ ンフラストラクチャー作成二一ズがある。</p>	<p>① EU: EUは中東欧のEU加盟条件 の一つとして環境保全に係わる法 制度・組織の整備を重視している。 この条件下で中東欧の環境整備の 最大の促進力となっている。EUは EU 7年、他の多くのアフリカを通じ 中東欧に対する環境支援を行って いる。またアフリカ(兄弟)というア フリカの面で環境のいろいろならな 先進 EU 諸国が加盟予定国に対し技 術支援を行う。 ② EBRD、世界銀行: 民営化、近代化、 環境整備の促進を支援。 ③ 二国間援助: EU 諸国は EU アフリ カと連携したり、あるいは独立した 環境のあらゆる面で支援を行って いる。 ④ REC (Regional Environmental Center for Central and Eastern Europe) は様々な環境支援二一ズ を展開。</p>	<p>① 東欧諸国は、EU 加盟条件を満足 するための環境保護強化が必要。 ② 法制度・組織・環境基準: 一言で 言えば EU 指令を満足するための 整備を望む。 ③ モニタリング技術: モニタリングのシステムと機 材整備の支援二一ズがある。 ④ 技術支援: リモート・ログ・システム、公 害対策の技術が必要。 ⑤ 資金: 公害対策推進、工場近代 化、都市中心部の資金を求む。 ⑥ NGO 同士の経験交流促進支援二 一ズがある。</p>
<p>① 南太平洋環境計画(SPREP) 同組織は太平洋22カ国およびオーストラ リア、フランス、ニューゼaland、米国の26カ国 で構成。SPREPは環境保全の管理体制 確立・強化を重視。 SPREPはGEF資金を得て気候変動枠 組み条約実施のための能力開発支援ア クションプランを実施。 ② UNDP、UNEP、ESCAP SPREPを通じて生物多様性モニタリング調 査、モニタリング主導の生物多様性保全プロ ジェクトを実施。 ③ 二国間援助 オーストラリア(AusAID)はハブ・ニューギニア において森林保全、生物多様性、海岸 保全などのプロジェクトを支援。その他の国 では気候変動モニタリングに協力。 カナダ(CIDA)は南太平洋海洋開発ア クションプランで珊瑚礁保全、海洋資源管理に 協力。</p>	<p>① 技術協力 米州保健機関 (Pan-American Health Organization - PAHO)、米州開発銀行 (Inter-American Development Bank - IDB)、二国間援助機関が以下の技術支 援を行っている。1) 特定セクターのア クションプラン策定、2) セクター分析、 3) 地方自治体行政能力向上。 ② 資金協力 IDB、世界銀行、北米、欧州の銀行が 様々なセクターへの融資を行っている る。</p>	<p>① 国際機関 世銀、IDBの大規模灌漑、森林資源 開発支援に対するNGOの反対を契機 に、同機関は1980年終りから持続可 能な自然保護重視の開発支援に転 換。 世銀は環境行政組織強化を判、他 方、UNEPは環境NGOに小規模資金協 力を。 ② 二国間援助 USAID: 官民両方の資金を利用し、 土壌保全、持続可能な自然資源管理、 生物多様性保全の分野で支援。複数 NGO連合体への委託が主である。 北欧3国とアフリカ: 森林・生物多様性 保全、教育管理に重点を置くNGOを通じ支 援。 GTZ: 流域環境管理計画策定、公害防 止技術普及、廃棄物管理、農業用土 壌保全、環境管理政策の分野で支援。 ドイツ: アフリカに環境科学調査研究フォー ラム・アフリカ国際大学センターを設立。</p>	<p>① 国際機関 世銀、アフリカ開発銀行が主要な支援機 関。世銀はアフリカ地域の国別環境援助戦 略を作成し、各国との対話にこれを活 用。アフリカ開発銀行は事前資源の長期的使 用や、天然資源管理に社会的弱者(貧困 層、女性など)を参加させる総合的自然 資源管理を重視。 ② 二国間援助 USAID: 環境変化と飢饉早期警戒システム を構築。農民の収入増加、持続的農業と呼 ばれる環境管理の関係を重視。FRAMESと呼 ばれる環境情報データベース、人的ネットワーク を構築し利用している。 CIDA: 1991年発行、1998年改訂アフリカ21 世紀の設計とアフリカの環境保全上重要な施策 をまとめた。アフリカの環境発展と多様化の ために、より広い市場が必要との観点か ら地位の統合を最重要課題とする。</p>	<p>① 国際機関 世銀、アフリカ開発銀行が主要な支援機 関。世銀はアフリカ地域の国別環境援助戦 略を作成し、各国との対話にこれを活 用。アフリカ開発銀行は事前資源の長期的使 用や、天然資源管理に社会的弱者(貧困 層、女性など)を参加させる総合的自然 資源管理を重視。 ② 二国間援助 USAID: 環境変化と飢饉早期警戒システム を構築。農民の収入増加、持続的農業と呼 ばれる環境管理の関係を重視。FRAMESと呼 ばれる環境情報データベース、人的ネットワーク を構築し利用している。 CIDA: 1991年発行、1998年改訂アフリカ21 世紀の設計とアフリカの環境保全上重要な施策 をまとめた。アフリカの環境発展と多様化の ために、より広い市場が必要との観点か ら地位の統合を最重要課題とする。</p>	<p>① 国際機関 世銀、アフリカ開発銀行が主要な支援機 関。世銀はアフリカ地域の国別環境援助戦 略を作成し、各国との対話にこれを活 用。アフリカ開発銀行は事前資源の長期的使 用や、天然資源管理に社会的弱者(貧困 層、女性など)を参加させる総合的自然 資源管理を重視。 ② 二国間援助 USAID: 環境変化と飢饉早期警戒システム を構築。農民の収入増加、持続的農業と呼 ばれる環境管理の関係を重視。FRAMESと呼 ばれる環境情報データベース、人的ネットワーク を構築し利用している。 CIDA: 1991年発行、1998年改訂アフリカ21 世紀の設計とアフリカの環境保全上重要な施策 をまとめた。アフリカの環境発展と多様化の ために、より広い市場が必要との観点か ら地位の統合を最重要課題とする。</p>	<p>① 国際機関 世銀、アフリカ開発銀行が主要な支援機 関。世銀はアフリカ地域の国別環境援助戦 略を作成し、各国との対話にこれを活 用。アフリカ開発銀行は事前資源の長期的使 用や、天然資源管理に社会的弱者(貧困 層、女性など)を参加させる総合的自然 資源管理を重視。 ② 二国間援助 USAID: 環境変化と飢饉早期警戒システム を構築。農民の収入増加、持続的農業と呼 ばれる環境管理の関係を重視。FRAMESと呼 ばれる環境情報データベース、人的ネットワーク を構築し利用している。 CIDA: 1991年発行、1998年改訂アフリカ21 世紀の設計とアフリカの環境保全上重要な施策 をまとめた。アフリカの環境発展と多様化の ために、より広い市場が必要との観点か ら地位の統合を最重要課題とする。</p>
<p>① 太平洋諸島フォーラム(PIC) (南太平 洋フォーラム(SPF)より名称変更) ② 太平洋共同体 ③ 南太平洋環境計画(SPREP)(UNEP が設立を支援した。本部はソロモンに ある)</p>	<p>① 中央カリブ環境保護条約(1989): 中央カリブの環境保全の実施と協力 の基本的枠組み。同条約は1994 年締結された。海海洋環境保全開発条 約: 中心課題は油流出、特別保 護区、野生生物、海洋汚染被害を 受けた陸上資源。</p>	<p>① 1980年代 IUCN、WWF、TNC、IC 等 の国際的なNGOがアフリカ地域の自 然保全に大きな発言力を持つ。 NGOには、債務・環境アフリカなどの 資金カンパニーを発案し熱帯林や生 物の保全に貢献。</p>	<p>① GEFに登録され環境に係わりアフリカに 所在するNGOは80以上。 ② 自然保護、開発、農業、コミュニティ、環 境、女性、文化など、環境に係わ る殆ど全ての分野で存在する。活動 範囲を自国内、アフリカの特定地域、ア フリカ全体など様々。</p>	<p>① 海洋環境保護地域機構(ROPME) ② アフリカ・不毛乾燥地域研究センター (AGSAD) ③ 7777科学委員会連盟</p>	<p>① 中東欧の環境問題の多くは多 国間に跨り、多国間協力が多く存 在する。 ② ト・アフリカ流域協力、黒海 協力、地中海協力、アフリカ・ア フリカ協力、アフリカ・ヨーロッパ協 力等。</p>	<p>① 中東欧諸国、ハ・外海3国のNGOが 極めて活発。 ② 東欧諸国にも多くのNGOが存在 するが、役割は限定的。</p>
<p>① 地域協力組織がある。 ① 太平洋諸島フォーラム(PIC) (南太平 洋フォーラム(SPF)より名称変更) ② 太平洋共同体 ③ 南太平洋環境計画(SPREP)(UNEP が設立を支援した。本部はソロモンに ある)</p>	<p>① 中央カリブ環境保護条約(1989): 中央カリブの環境保全の実施と協力 の基本的枠組み。同条約は1994 年締結された。海海洋環境保全開発条 約: 中心課題は油流出、特別保 護区、野生生物、海洋汚染被害を 受けた陸上資源。</p>	<p>① 1980年代 IUCN、WWF、TNC、IC 等 の国際的なNGOがアフリカ地域の自 然保全に大きな発言力を持つ。 NGOには、債務・環境アフリカなどの 資金カンパニーを発案し熱帯林や生 物の保全に貢献。</p>	<p>① GEFに登録され環境に係わりアフリカに 所在するNGOは80以上。 ② 自然保護、開発、農業、コミュニティ、環 境、女性、文化など、環境に係わ る殆ど全ての分野で存在する。活動 範囲を自国内、アフリカの特定地域、ア フリカ全体など様々。</p>	<p>① 海洋環境保護地域機構(ROPME) ② アフリカ・不毛乾燥地域研究センター (AGSAD) ③ 7777科学委員会連盟</p>	<p>① 中東欧の環境問題の多くは多 国間に跨り、多国間協力が多く存 在する。 ② ト・アフリカ流域協力、黒海 協力、地中海協力、アフリカ・ア フリカ協力、アフリカ・ヨーロッパ協 力等。</p>	<p>① 中東欧諸国、ハ・外海3国のNGOが 極めて活発。 ② 東欧諸国にも多くのNGOが存在 するが、役割は限定的。</p>
<p>① 地域協力組織がある。 ① 太平洋諸島フォーラム(PIC) (南太平 洋フォーラム(SPF)より名称変更) ② 太平洋共同体 ③ 南太平洋環境計画(SPREP)(UNEP が設立を支援した。本部はソロモンに ある)</p>	<p>① 中央カリブ環境保護条約(1989): 中央カリブの環境保全の実施と協力 の基本的枠組み。同条約は1994 年締結された。海海洋環境保全開発条 約: 中心課題は油流出、特別保 護区、野生生物、海洋汚染被害を 受けた陸上資源。</p>	<p>① 1980年代 IUCN、WWF、TNC、IC 等 の国際的なNGOがアフリカ地域の自 然保全に大きな発言力を持つ。 NGOには、債務・環境アフリカなどの 資金カンパニーを発案し熱帯林や生 物の保全に貢献。</p>	<p>① GEFに登録され環境に係わりアフリカに 所在するNGOは80以上。 ② 自然保護、開発、農業、コミュニティ、環 境、女性、文化など、環境に係わ る殆ど全ての分野で存在する。活動 範囲を自国内、アフリカの特定地域、ア フリカ全体など様々。</p>	<p>① 海洋環境保護地域機構(ROPME) ② アフリカ・不毛乾燥地域研究センター (AGSAD) ③ 7777科学委員会連盟</p>	<p>① 中東欧の環境問題の多くは多 国間に跨り、多国間協力が多く存 在する。 ② ト・アフリカ流域協力、黒海 協力、地中海協力、アフリカ・ア フリカ協力、アフリカ・ヨーロッパ協 力等。</p>	<p>① 中東欧諸国、ハ・外海3国のNGOが 極めて活発。 ② 東欧諸国にも多くのNGOが存在 するが、役割は限定的。</p>